

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：環境課

施策名	28 循環型社会
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・環境に対する市民意識が高く、ごみの分別とリサイクルが徹底されているため、きれいなまちが保たれています。

③ 施策評価指標

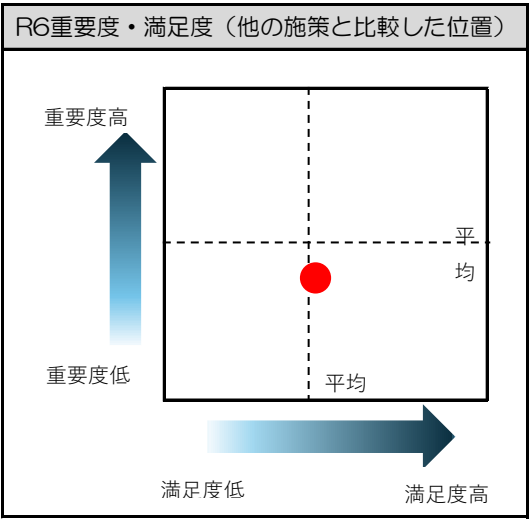
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標
1人1日当たりのごみ排出量	g	870	906
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	822	820	

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
189

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）
令和5年度
89.1
➡
令和6年度
87.1

※増減（➡）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

重要度が平均より低い状況となっていますが、これまでの資源を浪費する時代から限りある資源を循環利用する循環型社会の実現は、近年ますます重要視されています。

今後もリデュース、リユース、リサイクルの3Rなど廃棄物の減量や再生資源の活用を推進するとともに、循環型社会に対する市民意識の理解を深める取り組みを進めます。また、適正排出についての啓発や自らの土地は自ら不法投棄から守る意識の向上などに取り組めます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：廃棄物減量促進事業

R6決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
41,090	廃棄物減量啓発	➡	➡	積極的な啓発活動、生ごみ減量補助の促進を行い、一般廃棄物処理基本計画の着実な運用を進めます。リサイクルの促進のため、資源ごみ集団回収事業の支援の拡大を検討します。	○
	資源ごみ集団回収事業奨励金	➡	➡		

事務事業②：不法投棄監視事業

R6決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
3,129	不法投棄防止啓発	➡	➡	土地の管理者が自ら不法投棄を防止する必要があることをより広く広報するため、適切な広報活動に努めます。また、ショート動画による啓発など、新しいメディアによる新しい広報について検討します	